

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-05-01

No. 119



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 32 Ed. 2 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器-エミッション要件(2/2)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 179 回セッション報告書(4/4)	10
国際テーマ: 現在のウイルス危機の間の、世界各地での Nemko の業務状況	12
国際テーマ: Nemko US が USNC (全米委員会) ・ IECCE 委員会を主催	12
国際テーマ: ロシア: RoHS 関連書類が不足していた製品がロシア国境で足止め	13
国際テーマ: モロッコにおける電気機器の市場参入要件	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14

USA: FCC: Part 15: どのタイプの非意図的放射機器が FCC 機器認可を免除されるか(1/3)	15
USA: FCC: 6 GHz 帯向けの新たな規則を提案、免許不要の使用のための 1200 MHz を開放	16
USA: FCC: 5.850-5.925GHz 帯使用 NPRM への回答コメント締め切りを延期: C-V2X 関連	17
USA: FCC: ホワイトスペースデバイス等のプッシュ通知要求事項の適用免除を延長	17
USA: NHTSA: 自動運転システム(ADS)車両の連邦モータ車両安全基準 (FMVSS) への適合	18
USA: OSHA: NRTL プログラムの適切試験規格リスト、及び一部 NRTL の認定範囲の変更	18
USA、日本: 国際エネルギースタープログラム: 改正制度要綱及び改正制度運用細則が公布	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	20

EU, UK: Brexit の移行: 工業製品に関連した EU 規則に関する利害関係者のガイダンス(1/4)	22
EU: RED: 整合規格サマリーリスト最新版(2020/03/31)を公表	24
EU: RED: クラス 1 機器(制限なしで運用可能な無線機器) 2020 年 1 月版リスト公開	24
EU: 機械指令の新しい整合規格公表: 実施決定 (EU) 2020/480 が公示	25
EU: 医療機器(アクティブ埋め込み型、体外診断医療機器を含む)整合規格リスト公表	26
EU: 医療機器規制 (MDR) の適用日を 1 年間延期: コロナウイルス対応	26
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	30
オーストラリア: ACMA: 無線通信(電磁放射線-人体への曝露)修正規格 2020 年(No. 1)を作成	31

中国: SRRC: 無線送信機器の型式承認作業が着実に進行: 生産再開および 5G の開発に貢献	31
中国: SAMR: 人工知能によるナレッジマッピングの標準化が流行の予防生産等に貢献	32
中国: CQC: 《強制性製品認証実施細則 電気アクセサリ》の改訂通知	32
中国: CQC: 自動車の省エネルギー認証、オートバイの省エネルギー認証関連通知	33
中国: 新規格リスト	33
台湾: 人感センサー付き発光ダイオード (LED) 電球商品の検査基準等の関連規定	35
台湾: 検査対象のスイッチング電源装置など 12 項目の商品の関連検査規定を改正	36
台湾: 新規格リスト	36
韓国: RRA: 放送通信国家標準の改正予告: KSX3124 無線機器の共通電磁両立性試験方法等	36
韓国: KATS: 電気用品安全基準 (KC 62133-2) 制定 (案) 予告	37
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (6/9)	39

総務省: 情報通信技術分科会 (第 148 回) 配付資料 : 5G 及び BWA の高度化、ドローン等	40
経済産業省: 電気用品安全法新着情報: 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う通知	41
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 4 月分)	41
経済産業省、国土交通省: 洋上風力発電設備に関する技術基準の統一解説等を策定	41
経済産業省、国土交通省: 乗用車の 2030 年度燃費基準を策定しました	42
国土交通省: GTR 国際基準(WLTP)に基づく燃費測定を義務化: 燃料電池自動車にも追加	42
国土交通省: GTR 第 15 号 WLTC モード法の改訂: 道路運送車両の保安基準の細目等変更	43
国土交通省: 装置型式指定規則等の変更: 国際全車両型式承認協定規則(第 0 号) 等の改訂	44
国土交通省: 自動運転車に関する安全基準を策定! 〜ステッカーのデザインも決定〜	44
ちよっといっぶん〜小クイズコーナー ISO または IEC 規格での表現	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	21
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: CISPR 32 Ed. 2 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器-エミッション要件(2/2)

- CISPR 32 Ed. 2.0 修正 1 (2019-10) マルチメディア機器の電磁両立性 - エミッション要件が、2019-10 付で発行された。この修正 1 の主な内容を紹介する。
- 「測定計装の不確かさは、適合遵守の決定の考慮に入れない」という既存の規定が大幅に書き換えられた。「試験ラボの不確かさが CISPR 16-4-2 : 2011 / AMD2 : 2018, 表 1 の *U_{cispr}* の値よりも大きい場合は、両不確かさ間の差により必要な試験結果の調整を行い、それが規定限度値を超えてはならないこと」と、規定された。
- 「C.2.2.2 放射エミッション測定用のアンテナ」での変更
従来、CISPR 32 は、アンテナ校正要件について ANSI C63.5 を参照していた。本版では、「アンテナ校正は、CISPR 16-1-6 : 2014 / AMD1 : 2017 の手順を使用し、CISPR 16-1-5 : 2014 / AMD1 : 2016 で定義されている施設を使用すること」と、変更された。等々

USA: FCC: Part 15: どのタイプの非意図的放射機器が FCC 機器認可を免除されるか(1/3)

ノレッジデータベース Knowledge Database (KDB)より

- 本ガイダンスの対象範囲は、機器認可手続き(SDoC、または証明)のいずれかに基づく適合性の実証を免除されているが、FCC 規則パート 15 の一般的な運用条件の下で規制されている特定のタイプの高周波(RF)機器、である。言い換えれば、免除された機器が他の無線サービスに干渉を引き起こした場合、その機器の運用者は、FCC からの通知を受けてその機器の運用を中止し、干渉を是正しなければならない。

USA、日本: 国際エネルギースタープログラム: 改正制度要綱及び改正制度運用細則が公布

- 国際エネルギースタープログラム: 改正制度要綱及び改正制度運用細則が 2020 年 3 月 25 日に公布され、2020 年 6 月 1 日より施行

EU, UK: Brexit の移行: 工業製品に関連した EU 規則に関する利害関係者のガイダンス(1/4)

- 2020 年 2 月 1 日、英国は EU を離脱した。「離脱協定」は、2020 年 12 月 31 日に終了する移行期間を規定している。2021 年 1 月 1 日の時点から、進行中の Brexit 交渉の結果に関係なく、広範囲に及ぶ影響が出てくるだろう。利害関係者は、準備ができていることを確認する必要がある。これを支援するために、欧州委員会は英国との 50 条交渉中に発表した 100 を超えるセクター固有の利害関係者の「準備通知 preparedness notices」を見直し、必要に応じて更新している。

EU: RED: クラス 1 機器(制限なしで運用可能な無線機器) 2020 年 1 月版リスト発表

- このリストで示される「クラス 1」機器は、それが全 EU で制限なしで運用できるものである。委員会の実施規制 2017/1354 に指定されているピクトグラムにより、RED 第 10 条 (10)による制限付きの機器であることを表示する必要がある。

EU: RED: 整合規格サマリーリスト最新版(2020/03/31)を公表

機械指令の新しい整合規格発表

EU: 医療機器規制 (MDR) の適用日を 1 年間延期: コロナウイルス対応

社長の独り言

2020 年 4 月 17 日

濱口慶一

コロナウイルスの感染拡大防止のため、日本もとうとう、全ての都道府県に対して緊急事態宣言が出されました。読者の皆様とご家族の方々、弊社の社員とその家族にコロナウイルスに負ける人が出ないように祈念します。

製品認証・評価業務を行う機関の経営者として、国民が必要とする製品の安全評価や認証は、この国難の中にあっても止めることができない業務と理解しています。どのような状況になっても業務を続けるために、監督省庁の指示に従って職員の安全を確保し、外部からのウイルス感染を食い止め、感染拡大を阻止していきたいと思います。そのため、弊社での立会試験、技術打ち合わせなどでご訪問いただいた際には、可能な限りマスクの着用と玄関での手の消毒にご協力をお願いしています。マスクに関しては市場で入手し難くなっていますが、弊社にて用意しますので訪問時には遠慮なく総務課に申し出て下さい。

三重県知事からは他県への不要不急の移動をできる限り控えるようにとの指示が既に出されていますが、お客様の製品開発の予定に遅れがでると大きな損失が生じる可能性もありますので、松阪市から社用車での訪問とさせていただいております。訪問する社員には、経路途中のサービスエリアなどでの食事の禁止（手弁当で社用車内での食事）、休憩時には人込みを避けるよう行動するように指示して業務にあたらせています。車での移動の場合、交通事情で遅れも生じる可能性がございますので、予めご理解ください。また、通常1名で遂行できる業務でも、運転の交代要員などの問題もあり、通常よりも訪問者が多くなることもご理解くださいますよう、宜しくお願いします。

今回のコロナウイルス問題に関して、私個人はあちらこちらに移動してお客様を訪問しながら業務を遂行している中で、自分が感染したのではと感じた時点で外部や家族への濃厚接触を避け、感染防止するのは当然だと思っています。万が一勤務中に病気に感染し、残念ながらその病気に負けて一命を失うことになっても、自分なりに有意義な人生だったと満足して逝けると考えています。これを組織のトップとして部下などに口にするのはパワハラになるのでしょうか？同じ理解を強いて行動させることはパワハラだろうとは理解していますが、ボヤキ程度ならパワハラではないと考えるのは間違いだらうかと自問することが多くなりました。

趣味の日本蜜蜂の養蜂について先月も少し触れましたが、定年で退職された方々で私と同じ日本蜜蜂養蜂家が多くなったように感じます。インターネット上で養蜂家のグループがたくさんできており、色々な蜜蜂の情報が飛び交っています。私と同じような問題が生じた方々が、あの手この手で対策を講じて解決しているのがわかります。桜の花の時期も終わり、日本蜜蜂は蜜をたくさん集めて新しい家族作り（分蜂）の時期に入っているのですが、私はコロナウイルス問題で周辺への外出を控えなければならないので、日本蜜蜂にとっては分蜂で一時的に集まったところをタモで取り込まれる危険性が少なくなり、喜んでいるのではないのでしょうか。自分達で新居を探して移動して行くという本来の行動になりますので、自然にしておくのが一番良いのかもしれません。

自宅近くにあり、毎朝緑を楽しんでいた山の80%位が削り取られ、国内最高クラスのメガソーラーシステムの建設が本格的に始まるようです。日本蜜蜂や鹿、日本猿、野鳥などの居場所が縮小され、山から追いやられているらしく、最近は自宅の裏庭などにも出没するようになりました。自宅の周囲をフェンスで囲んでいるため、帰宅した時に彼らがびっくりして中の方に逃げ、車への追撃行動をすることもあって大変です。以前は大きくなったら猪鍋にするぞと可愛い瓜坊（イノシシの子供）を追いかけてまわすこともあったのですが、地元の方に厳重に注意されました。瓜坊の近くに必ず大きな親が居るので激怒して襲って来ることがあり、襲ってこなかったとしてもマダニがこぼれ、噛まれると命を落とすこともあるので細心の注意が必要とのこと。数か月前に自宅裏で90kgの大きな猪が罾にかかり、ハンターが処理したのですが、限界集落になりつつある自宅周辺です。その猪は裏の雑木からユンボで吊るされ、車の荷台に乗せられ処理場に運ばれました。立ち会った人たちに”90kgは私の体重とほぼ同じなので、私が倒れたらユンボで吊るして運んでもらいます！”と答える一方で、ダイエットの決意をしました。

皆さん、どうかご無事でお過ごしください。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-05-01 (No. 119)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。